



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

1月号

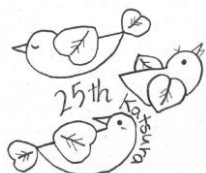
令和3年1月6日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp

桂小学校HPのQRコードはこちら→



干支の話

校長 寺澤 みゆき

令和3年が始まりました。今年は静かにご家族で新年を迎えられた方も多いかと思います。皆様にとって、これからの1年が幸多き年でありませう願っております。

さて、今年の干支（えと）は辛丑（かのとうし）です。毎年、深く考えもせず「今年の干支は〇〇」などと言っていました。干支とはなにか実はよく分かっていないことに気づき、「干支」とは何か、改めて調べてみることにしました。干支とは、十二支という12種の漢字1字からなる記号（子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥）と十干（じっかん）という10種の記号（甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸）を組み合わせることで形成した、60を一周期とした数詞のことだそうです。古代中国ではこの60からなる数詞を用いて方角や時間、暦を表し、各種占いにも応用されていました。そして、王充（おういつ）という人が、この十二支を民衆に浸透させるために、覚えやすく馴染みやすい動物に替えて文献を書いたことが日本でもなじみの深い十二支の始まりになったようです。

日本の昔話でも十二支の始まりを題材にしたものがあります。

『大昔の話。神様が「一月一日の朝、一番から十二番目までに来たものを1年交代で動物の大將にする」という手紙を書きました。それを受け取った動物たちは、自分が一番になろうと翌朝まだ暗いうちから一斉にスタートしました。いよいよ新年の太陽が昇った時、前日の夕方から出発していた牛が一番に現れました。しかし牛の背に乗っていたネズミが、「神さま、新年おめでとうございまチュウ」と、牛の背中からぴょんと飛び降り、神さまの前に走っていきました。一番はネズミになってしまったので、牛は「モウモウ！」と悔しがりました。続いて虎が到着し、そして兎、龍がやってきました。こうして次々に動物たちが到着し、蛇、馬、羊、猿、鳥、犬、猪の順番となりました。』

（まんが日本昔ばなし～データベース～「十二支の由来」より）

牛というと、「鶏口牛後」「牛耳る」などマイナスイメージの諺が浮かびますが、己の歩みが遅いことを自覚し、前日の夕方から出発する昔話の牛からは真面目に努力する実直な姿が思い浮かべられます。辛丑の今年には学校の現状と社会情勢をしっかりと見極め、焦らずに確実に歩を進める、そんな年でありたいと思います。地域、保護者の皆様、今年も桂小学校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いたします。

人権週間の取組について

11月30日（月）～12月11日（金）の二週間、人権について考えました。朝会では、校長先生から、人権に関するお話がありました。各学年では、以下のような取り組みを行いました。

学 年	取り組んだ教材	学 年	取り組んだ教材
1年生	「ほめことばのプレゼント」	2年生	「いわれると うれしいことば」
3年生	「みんながえがおで楽しくすごすために」	4年生	「みんながえがおで楽しくすごすために」
5年生	「こまっている人は いないかな？」	6年生	「思いを伝えるのは むずかしい」
4・5組	「みんなが えがおで 楽しくすごすために」		「あなたの すきないろは？」